

平成 22 年度 決算を認定

西澤裕之氏を決算特別委員長に選任し、2日間の審査の結果、原案通り可決されました。

一般会計・特別会計・病院会計の決算額については10月号の“ほろのべの窓”でお知らせしておりますので質疑応答について掲載しております。

〈一般会計〉

◆歳出

〔総務費〕

〔植村委員〕選挙関係について、平成22年度から選挙管理を担当する事務員の不足等の要因から、投票所の統合による経費の削減等の影響は、どのようになっていくのか。

〔宮古主幹〕投票所が3箇所になった事により、人件費の削減になっている。投票に関する苦情等もなく比較のスムーズに行った。

〔民生費〕

〔音賀委員〕毎年長寿まつりを行っているが、アルコール等を出しておまつりを盛り上げ、来年もぜひ参加したいと思うようなアイデアを考えてはどうか。

〔宮本町長〕自律プランでアルコールを出さないということが決まった。アルコールがなくても雰囲気盛り上げられるような工夫を担当者に知恵を出してやってもらいたいと思っている。



長寿まつりの様子

〔教育費〕

〔音賀委員〕図書館管理システム導入事業の中でパソコン等を利用して、幌延町全体の図書の管理をしていく中で、その成果と今後の課題に向けての取り組みはどの様になっているのか。

〔大村主幹〕まだ町全体の図書の連携はシステム上はできていない。ホームページ上で図書・図書室の方をクリックすると、在庫の本が出るようなシステムになっている。

〔兜教育長〕改善センターの方から学習センターの方に

図書を持ってきて今スタートしたばかりで、職員の体制を考えながら一体化した図書の管理を検討をしている。

〔植村委員〕社会教育の中でいろいろな公演活動を行っているが、実際大変面白くためになる公演等も随分あった中で、参加人数が少なく寂しいと言う話を聞いているが、なにが原因なのか。

〔大村主幹〕ご指摘のとおり参加人数が少ないという悩みがある。教育長・次長・担当者で検討をしている。今年度導入した双方向端末機や回覧等で周知するなど今後の課題と思っている。



北岡文雄展

◆総括

〔音賀委員〕一般会計の残額が2億9千2百万円出ました。次年度に向けて、幌延町に生まれて、生活して、就職して良かったと思えるように予算に反映させていきたい。

〔宮本町長〕大変評価の高い決算を終えられたと思っている。24年度に向けて、まだいろいろと工夫する面もあるうと思っている。

〔鷲見委員〕地域の労働力の確保や雇用の確保等を考え、町営牧場の広域化も必要ではないか。

〔宮本町長〕農家の方々の希望があれば農協と協議をして検討をしていく。

〔音賀委員〕競争力のある酪農の推進に取組んでいるとはどのようなことか。

〔宮本町長〕農協の平成25年からの農業振興計画が出た中で検討をしていく。

〔山本主査〕酪農ヘルパー組合への支援。道の地域づくり総合交付金を活用し自走式ミキシングフィーダーを導入。強い農業づくり事業